

有償資金協力システムの基盤構築・運用保守に係る技術支援業務

(意見招請掲載日：2020/10/1) について、意見招請に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P.3	2. 業務の内容 【支援内容】	【支援内容】「②有償資金協力システム基盤の開発・保守にかかる要件の調整、取りまとめ支援」とありますが、有償資金協力システム基盤の開発という意味が不明です。誤記ではないかと思しますので、以下のようにご修正願います。 (修正案)有償資金協力システム基盤の構築・保守にかかる要件の調整、取りまとめ支援	「有償資金協力システム基盤の構築・保守にかかる要件の調整、取りまとめ支援」に修正いたします。
2	P.3	2. 業務の内容 【支援内容】	【支援内容】「④マーケットデータ管理システムの開発・保守・運用にかかる作業・報告」とありますが、マーケットデータ管理システムの開発を実際実施するという意図でしょうか？もし、当該システムの開発も業務に含まれるのであれば、開発も本件調達範囲であること及び開発に必要な要素技術(例：開発言語.net Java、データベース(Oracle)等)を明示されることをお勧め致します。 常駐技術者のアサイン検討において開発スキルのあるアプリケーション開発要員を選定する必要がある為です。	マーケットデータ管理システムの開発も本件調達範囲となります。 「マーケットデータ管理システム概要」を閲覧資料といたします。
3	P.3	2. 業務の内容 【支援内容】	【支援内容】「⑤ワークフロー管理システムの開発・保守・運用にかかる作業・報告」とありますが、ワークフロー管理システムの開発を実際実施するという意図でしょうか？もし、当該システムの開発も業務に含まれるのであれば、開発も本件調達範囲であること及び開発に必要な要素技術(例：開発ツールサイボウズ、MS Exchange Server 等)を明示されることをお勧め致します。 常駐技術者のアサイン検討において開発スキルのあるアプリケーション開発要員を選定する必要がある為です。	「⑤ワークフロー管理システムの保守・運用にかかる作業・報告」に修正いたします。 「ワークフロー管理システム概要」を閲覧資料といたします。

通番	該当頁	項目	質問	回答
4	P. 4	4. 業務実施体制 (1) 体制	「業務実施者3名を想定しています」とありますが、マーケットデータ管理システム、ワークフロー管理システムおよび、RPAといった既存システムまたはサービスの運用・保守に加え、運用業務プロセスの改善、効率化に伴うプログラム開発またはサービス導入等の対応を考慮すると品質確保の観点から選任担当者を割り当てた上で、2名体制による相互チェックが実施できる体制を整える必要があると考えます。 また、上記のほか、開発・保守にかかる要件調整、取りまとめ支援、障害に伴う対応支援といった様々な作業が同時並行的に発生した場合に、それぞれの作業を確実に遂行するためにも管理者を含めた4名以上の体制を必須要件としていただけないでしょうか。	業務仕様書記載の通り3名は想定人数であり、それ以外の体制についてもご提案頂くことは可能です。
5	P. 4	3. 引継ぎに関して (2) 後任者への引継ぎ条件	「なお引継ぎを行った結果についても、当機構の承認を得ること。なお、承認を得られなかった場合には、受注者の負担と責任において、引継期間を延長して当機構業務に支障がないよう対応すること。」とありますが、引継ぎは次期受注者側との共同作業となるため、一方的に本件受注者のみが負担及び責任を負うことは難しいかと考えます。新規参入業者への障壁とならぬよう、両社協議の上決定する、等の変更をお薦め致します。	「なお引継ぎを行った結果についても、当機構の承認を得ること。なお、承認を得られなかった場合には、双方協議の上で、引継期間を延長して当機構業務に支障がないよう対応すること。」に修正いたします。
6	P. 4	4. 業務実施体制 (1) 体制	「業務実施者3名を想定していますが、それ以外の体制についても提案を可とします。」とあります。常駐者が3名として、もし、1名が体調不良等で当日休みとなった場合、欠補要員についてどうされるのか記載することをお薦め致します。 閑散期の場合は、当日急に休みとなった場合でもあまり支障が出ないかと思いますが、繁忙期に休みとなった場合、業務遂行に支障が出る可能性があるのではないかと思っております。	欠補要員も含めた体制についてご提案ください。
7	P. 4	4. 業務実施体制 (2) 要員に求められる能力	「本件業務に必要な各種ハードウェア、ソフトウェア、セキュリティについて専門的な知見・技術・経験を有していること。」とありますが、システム構成図や開示可能な範囲で本システムに利用している具体的な主要な製品名を記載されることをご検討願います。資料(基盤設計書及びシステム構成図)を閲覧すれば知り得ると思いますが、調達仕様書本紙に掲載された方が一目で知りえ、業者における対応可否判断がすみやかに行える為です。	競争参加資格確認申請書をご提出いただき、当機構から参加資格有の通知を受領後、入札説明書の一部資料(基盤設計書、システム構成図)の閲覧が可能となりますので、当該資料をご参照ください。
8	P. 4	4. 業務実施体制 (2) 要員に求められる能力	要員に求められる技術に関して具体的な要素技術の提示がなく、適切な要員のアサインをすることが難しくなる為、具体的な要素技術(例:富士通製 SystemWalker、Oracleデータベース、ウィングアーク1st SVF/PDF等)や経験(例:特定メーカーに依存しないマルチベンダー製品を取り扱っていた、本件と類似のインフラ及びネットワーク構築等)を記載されることをご検討願います。	競争参加資格確認申請書をご提出いただき、当機構から参加資格有の通知を受領後、入札説明書の一部資料(基盤設計書、システム構成図)の閲覧が可能となります。本件業務に必要な要素技術については、当該資料をご参照ください。

通番	該当頁	項目	質問	回答
9	P.4	4. 業務実施体制 (2) 要員に求められる能力	当技術支援業務を担当される技術者(予定)(3名)の業務経歴書の提示を記載されることをお勧め致します。 業務経歴書に記載された経験や要素技術を確認するのはもちろんのこと、常駐する技術者の性格・考え方等相性も含め、事前に把握することが得策かと思われる為です。	技術提案書の作成要領は入札説明書に記載されません。
10	P.5	7. 成果品	業務完了届に含める「業務実施内容、所要工数、実施スケジュール」に現在利用されている書式(フォーマット)があるかと思しますので、別添資料としてご提示されるをお勧め致します。報告書がどのようなものを提示された方が新規参入業者には分かり易い為です。	入札説明書に記載する業務仕様書の別添として、業務完了届の書式を添付いたします。
11	P.5	8. 請求・支払い方法 (2) 出張旅費等	過去2年程度の出張の以下項目に関します具体的な数字を記載されることをご検討願います。具体的な内容を把握したい為です。 ・出張回数：国外○回、国内○回 ・出張先：国外の場合、国及び都市名、国内の場合は地名 ・出張滞在日数：国外の場合 ○日～○日、国内の場合○日	「出張は例年1回(国内、2日間)程度。」を追記いたします。